

中田かわら版 5月号

～中田地区の福祉保健活動をお知らせします～

発行：中田の福祉と保健を考える会 協力：泉区役所 泉区社会福祉協議会
製作：中田かわら版制作編集委員会 横浜市踊場地域ケアプラザ

親子のひろば にこにこパーク

3月23日(月)かわら版編集委員は、しらゆりベビーホームの開催するにこにこパークを見学に行ってきました。当日は桜の開花宣言があったとは思えない肌寒い日。でも、ベビーホーム内の会場は、快適で楽しい場となっていました。

白百合ベビーホーム(島田恭子所長)は白百合公園の一角にある乳児院で、ご家庭の事情やお子さんの事情で養育



白百合ベビーホーム



入口に並ぶベビーカー

することが困難な乳児を預かる入所施設です。入所施設であるベビーホームが地域の子育てを支援する「にこにこパーク」を始めた理由について、島田所長は「少子化や、核家族のため、子育てが難しくなっています。子どもに関わる施設として、地域で子育て中の親の悩みや相談を受け止め支援したいと考えています。」と話しています。

さて、まだ桜の咲いていないしらゆり公園を進みベビーホームの入口まで来ると、周りにベビーカーが整然と並んでいます。施設の中に入り、会場となっている2階の集会室に行くと、そこは床暖房に空気清浄機、フローリングにはたくさんのおもちゃが置いてあり、まさに、快適な空間の中で5組のお母さんと赤ちゃんが遊んでいました。スタッフやボランティアさんも一緒に遊んでいます。島田所長にお話を伺うと「にこにこパークは午前10時から午後3時の間であれば自由に参加できます。今日は天候があまりよくないのか少ないですが、たくさん集まる日もあります。また2時ごろにいらっしゃる方もいるので午後3時までには誰もいなくてもあけています。」話している間にも1組の親子がいらっしゃいました。ちなみにお弁当を持参すれば中で昼食をとることも出来ます。また、普段は自由に遊べる広場となっていますが、絵本の読み聞かせや離乳食教室、アタッチメント・ベビーマッサージ教室などのイベントも行われています。



快適な室内。奥にあるのは空気清浄機

子育てのプロが地域の子育てのために快適な空間とノウハウを提供してくれている。とても贅沢だし、どんどん活用するべきだと見学をして感じました。

(長谷川公夫・生田純也 編集委員)

場所：白百合ベビーホーム 2階集会室

対象：お子さんを子育て中のご家族(概ね0歳～3歳)、お父さん、祖父母の方でも参加可。

日時：毎週 月曜日・水曜日・金曜日 午前10時～午後3時

費用：無料 (イベント時は別途参加費が必要です。)

6月のイベント

【踊場地域ケアプラザ 10周年感謝祭】

日時：6月13日 11:00～14:30

場所：踊場地域ケアプラザ

内容：開所10周年を記念してイベントを開催します。

- ・ 模擬店・バザー
- ・ デイサービス給食試食
- ・ ケアプラザで活動する様々なグループの発表会
- ・ 地域活動パネル展示 など

【二十日会ボランティア募集】

一人暮らし高齢者の食事会を行っている二十日会では、料理作りなどのボランティアを募集しています。年齢制限なし、ボランティアがはじめての方でも、男性でもOKです。皆様のご協力をお待ちしています。

- ・ 活動日：毎月19日・20日(1月・8月は休み) 3班に分かれて担当するため活動は、3ヶ月に1度です。
- ・ 連絡：清水義之 802-7331

定期イベント情報

- 中田友遊会 (高齢者サロン) 6月11日(木) 13:30～15:00 中田町会館
- 中田子育てサロン 6月12日(金) 10:15～11:45 踊場地域ケアプラザ
- 町ぐるみ健康づくり活動 6月6日・20日(土)10:00～11:30 立場地区センター
- 春日健康づくり教室 6月7日・21日(日) 9:30～11:00 葛野コミュニティーハウス
- 白百合愛児園 (連絡先 805-5911)・育児相談 月～金 9:30～16:00
・ 園庭開放 木・土 10:00～11:30・図書の日 水 10:00～11:00
- 中田社協子育てサロン 6月25日(木) 10:15～11:45 葛野コミュニティーハウス
- 二十日会(一人暮らし高齢者の食事会：要予約) 6月20日(土) 11:45～踊場地域ケアプラザ
- 憩いの会 (宮の台サロン) 6月4日(木)12:00～14:30 宮の台町内会館
- ひまわり (広町サロン) 6月8日(月)13:00～15:00 広町自治会館
- 中田希望会 (中途障がい者の会) 6月11日・25日(木) 13:30～15:30 踊場地域ケアプラザ
- にこにこパーク (親子の広場) 毎週月・水・金 10:00～15:00 白百合ベビーホーム
- 青少年居場所作り 6月20日(土) 9:30～11:30 立場地区センター

◆ 開国博 Y+150

横浜開港150周年を祝うイベントが4月28日から始まった。9月27日まで153日間の長丁場だ。会場は港・緑・街を中心にそれぞれベイサイドエリア(みなとみらい21新港地周辺)、ヒルサイドエリア(よこはま動物園ズーラシア隣接地区)、マザーポートエリア(横浜駅周辺～山下・山手地区)の三つに分かれている。横浜の歴史を改めて考えてみるよい機会になるだろう。

なお、開港の起源は1859年6月2日、幕府が横浜を開港。運上所以東を外国人居住地、以西を日本人居住地に定めた。前年1858年6月19日、日米修交通商条約が調印され、その後オランダ、ロシア、イギリス、フランスと順次調印していった。当時の横浜の人口は3046人、戸数641と記録されている。
(宮田貞夫 編集委員)



このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 生田(いくた)まで問い合わせください。

TEL 801-2114

FAX 801-2923

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう!～